

m-Friends コンサート・スペシャル

硬派弦楽アンサンブル

石田組

-ISHIDAGUMI-

石田 泰尚

©井村聖人



執行 恒宏

鈴木 浩司

岩村 聡弘

村井 俊朗

Violin



辻本 玲

田草川 亮太

Cello



富田 大輔

萩谷 金太郎

Viola



米長 幸一

Contrabass

平成27年 9月26日[土] 午後3時開演
(午後2時30分開場)
盛岡市民文化ホール 大ホール

前売料金

3,500円(当日4,000円)

全席指定

m-Friends 特別料金 2,000円(前売のみ/1会員4枚まで)

※m-Friendsチケットは盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、キャラホール、姫神ホールでのお取り扱いとなります。
※未就学児はご入場いただけません。

プレイガイド

カワトク、フェザン、マリオスインフォメーション、岩手県民会館、江釣子SCバル(北上)
プラザおでって、盛岡劇場、キャラホール、姫神ホール、盛岡市民文化ホール

Program

◆ヴィヴァルディ
「四季」

◆モーツァルト
「アイネクライネナハトムジーク」

ほか

※曲目は変更となる場合がございます。

【主催】盛岡市文化振興事業団

【共催】盛岡市、岩手日報社

【後援】テレビ岩手

■お問い合わせ・チケット予約 / 盛岡市民文化ホール Tel.019-621-5100 <http://www.mfca.jp/shiminbunka/>

6月11日(木)発売

多くのファンを魅了するヴァイオリニスト

石田泰尚がプロデュースする、硬派弦楽アンサンブル「石田組」。

その一番の特徴はすべてのメンバーが男性であること。

今回は石田泰尚を筆頭に、

ヴァイオリン、執行恒宏、鈴木浩司、岩村聡弘、村井俊朗、

ヴィオラ、富田大輔、萩谷金太郎、チェロ、辻本玲、田草川亮太、

コントラバス米長幸一10人の男たちによる

スーパー・ストリングス・ユニットが

ヴィヴァルディ作曲「四季」などの名曲を響き渡らせる。

石田 泰尚 Yasunao Ishida(VI)

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年より神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロコンサートマスターに就任。以来「神奈川フィルの顔」として現在までその重責を担っている。これまでに神奈川フィル定期でハチャトゥリアン、グラス、ニールセン、グラスノブの協奏曲を演奏し、更にプログラム後半でもコンサートマスターを務め称賛の声が多く寄せられた。2008年にはその功績から神奈川文化賞未来賞、2012年には横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞した。また2011年～2014年にかけて750年の歴史を誇る鎌倉市・建長寺にて無伴奏リサイタルを行い大好評を得る。オーケストラ以外にも2000年より中岡太志(pf)松原孝政(sx)と共に「トリオリベルタ」を結成。その新しいスタイルのピアノ演奏は各方面から賞賛の嵐と話題を呼んでいる。2005年には及川浩治(pf)らと「Bee」を結成。デビュー公演は満席、急遽追加公演が行われた。ソロ活動に関してもバロックから近現代までの幅広いレパートリーを持ち、近年ではクラシックの枠を超えての活躍も目覚しく、全国でコンサートを展開している。2014年より自身がプロデュースした男性奏者のみで構成される硬派弦楽アンサンブル「石田組」の活動を始動。今後の活躍がますます期待される。使用楽器は1690年製Tononi。

●公式サイト <http://musiciansparty.jp/artist/ishida/>



執行 恒宏 Tsunehiro Shigyo(VI)

1973年生まれ、千葉県出身。東京芸術大学附属高校を卒業後、同大学入学。在学中より演奏活動を始め、山形交響楽団2ndVI.首席奏者に就任。後に同団コンサートマスターに就任し、2006年まで務める。東京ニューシティ管弦楽団等との共演やオペラシティでのリサイタルなど、ソリストとして、またYAMATO弦楽四重奏団メンバーとしての他、室内楽の分野でも意欲的に活動をしている。現在東京ニューシティ管弦楽団コンサートマスター。その他国内主要オーケストラにゲストコンサートマスターとして招聘される。これまでに、浅川多美子 鷺見康郎 澤和樹 小林健次の各氏に師事。

村井 俊朗 Toshiro Murai(VI)

桐朋学園大学を経て、ウィーン国立音楽大学にて研鑽を積む。帰国後、神奈川フィルハーモニー、東京フィルハーモニー、東京シティフィルハーモニー、仙台フィルハーモニーなど、首都圏を中心にゲストコンサートマスターや客演首席として出演する他、レコーディングや室内楽等、多岐に渡って活動している。

富田 大輔 Daisuke Tomita(Vla)

愛知県立芸術大学を経て、東京芸術大学音楽学部を卒業。同大学院修士課程修了。第3回みえ音楽コンクールヴィオラ部門第1位。第13回日本クラシック音楽コンクール弦楽部門全国大会第4位。> プロジェクトQ・JTが育てるアンサンブルシリーズ/リゾナール音楽祭・彩の国アーティストシリーズなど、様々な演奏会に出演している。現在、日本フィルハーモニー交響楽団ヴィオラ奏者。これまでにヴィオラを野上卓三博・兎東俊之・川崎和憲・岡田伸夫の各氏に師事。

鈴木 浩司 Koji Suzuki(VI)

1985年福岡県北九州市出身。2008年愛知県立芸術大学を卒業。同年、神奈川フィルハーモニー管弦楽団に入団。現在、同楽団のフォアシニプレーヤーを務める。2007年JTアートホールアフィニス主催の「期待の音大生によるアフタヌーンコンサート」に出演。2011年アジアフィルハーモニー管弦楽団の韓国、日本、中国公演に参加。2014年アフィニス夏の音楽祭に参加。これまでに、篠崎美樹、篠崎永育、故山本由香子、大谷康子、服部芳子、Ewald Danelの各氏に師事。

辻本 玲 Rei Tsujimoto(Vc)

東京芸術大学音楽学部器楽科を首席で卒業(アカンサス音楽賞受賞)。2003年、第72回日本音楽コンクール第2位、併せて「聴衆賞」受賞。2007年度青山音楽賞新人賞受賞。メタ・ワッツ、オーランド・コール、川元適益、上村昇、山崎伸子、アルト・ノラス、アントニオ・メネセスの各氏に師事。使用楽器は、NPO法人イェロー・エンジェルより1724年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを貸与されている。

萩谷 金太郎 Kintaro Hagiya(Vla)

東京都出身。3歳よりヴァイオリンを、18歳よりヴィオラを始める。東京音楽大学卒業、桐朋学園大学院大学修了。京都市交響楽団契約団員を経て、現在NHK交響楽団アカデミー在籍。PMF2011、パブロカザルス国際音楽祭、アフィニス夏の音楽祭などに参加。ヴァイオリンを堀江智子、藤原浜雄に、ヴィオラを百武由紀に、室内楽を上田晴子、岩崎流、銅銀久弥の各氏に師事。

岩村 聡弘 Akihiro Iwamura(VI)

桐朋音高を経て渡欧、ウィーン市立音楽院にて研鑽を積み傍ら、様々なオーケストラでコンサートマスターを務める他、ウィーン現代音楽祭にてソロヴィオラ奏者としてORF出演等で好評を博す。現在シアターオーケストラ東京コンサートマスターを務める他、自らプロデュースするストリングス、オーケストラ等で国内外のアーティストから絶大な信頼を得ている。ブラームス国際コンクール室内楽部門ディプロマ受賞。

田草川 亮太 Ryota Takusagawa(Vc)

桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学卒業、同研究科修了。チェロを井上頼豊、荻田雅治両氏に室内楽を毛利伯郎、藤井一興両氏に師事。在学中ミクロシュ・ペレーニのマスタークラスを受講する他、桐朋学園チェロアンサンブルでのアメリカ公演に参加。その後ジャパンチェンバーオーケストラ等に参加する。現在は室内楽の他オーケストラやレコーディング等で活動。

米長 幸一 Koichi Yonenaga(Cbs)

10歳よりコントラバスを始め堤俊作氏に師事。桐朋学園大学卒業、研究科修了。在学中に池松宏、ゲーリー・カー、ライナー・ツェッベツの各氏に指導を受ける。2000年、日本演奏家協会コンクールにおいて弦楽器の部第1位。01年より神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席コントラバス奏者。